

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30年 9月 25日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490201195		
法人名	株式会社ニックス		
事業所名	グループホーム桃太郎		
所在地	広島市西区小河内町一丁目8番1号 (電話)		
自己評価作成日	平成30年8月26日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	なし
-------------	----

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年9月19日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

介護のプロ集団が提供するグループホームとして、ご利用者様には家庭的で落ち着いた雰囲気の中で過ごしていただき、認知症状の進行を穏やかにし「心の癒し」「さりげない日々の生活の実現」「権利と尊厳の確保」をお一人お一人に実現していただけるよう、家族の気持ちで介護する精神を誇りにしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

運営方針が明確であり、ホームとして目指すべき方向性が決まっている。健康管理を図る目的で、①月2回の訪問診療（内科、歯科）、②レクリエーション、③自社でDVDを作成された”ニックス体操”の実施により、身体機能が維持・継続できる取り組みをされている。2カ月に1回の運営推進会議では家族会を兼ねて行い、利用者と家族との関わりが持てるよう取り組まれている。誕生日会では、手作りケーキや本人の好むメニュー、月2回程度の自由メニューを取り入れ、季節ごとの行事食の提供により、食事が楽しめる工夫や雰囲気づくりをしている。運営理念「相手本位の心」を基本と捉え、生活上必要な全ての事柄は職員と利用者がともに行い、共に楽しむようにしている。開所（H30.2）して間もないこともあり、今後は職員間の連携を更に深め、より良いケアの充実を図りたいと考えている。

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を共有する為、各ユニットごとカンファや全体でのカンファを行い実践に繋げている。	ケアの統一を図る目的で、社内研修と全体ミーティングを毎月行い、職員間で共有することで実践に繋げている。運営方針が明確であり、ホームとして目指すべき方向性が決まっている。職員の意欲向上を図るために、今後は目標を掲げ、取り組みたいと考えている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	2か月に1度運営推進会議を開催し地域の方との交流や情報公開を行っている。	開所時 (H30.2)には、見学会を行った経緯がある。町内会に加入しているが、地元行事が少ないことを受け、同グループの協力を得て、夏祭りを開催し、リハビリの体験や美容師による無料メイクアップ、またポップコーンや焼きそばなどの出店をされ、近隣の方が多く訪れ大盛況である。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	まだ立ち上げて半年しか経っておらずそこまで行きついていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	意見交換や情報公開を行いグループホームの特色や取組み等を行っている。	参加者の要望から家族同士での話し合いを設けたいとの意見を頂き、会議時には、家族会を兼ねて行っている。現状を報告するなかで、相談・検討を行い、それらの意見をサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	入居者とのトラブルでの対応等について聞いたりしている。	開所 (H30.2) して間もないこともあり、市担当者とは相談したり密に連絡を取り合い、協力関係を築くようにしている。事故報告書やケースによっては苦情報告を細目に報告することで、アドバイスを頂くこともある。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	個人の尊厳を大切にしながらケアを行うように努力している。	会社全体で、教育訓練計画書に基づいて、同グループ内の社内研修を行っている。「身体拘束禁止のための指針」を作成し、身体拘束委員会を年3回開催している。日々のケアで疑問があればその都度話し合いをしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	社内研修等で学ぶ機会を持ちカンファ等で職員が共有できる様努力している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	社内研修にて行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用者や家族と日頃からコミュニケーションを密にとっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議の場や日々の面会等で思いや要望を聞くようにしている。	家族会を年6回開催し、意見交換をしている。事業所運営に生かせるように、家族面会時に”ご面会者記録カード”を手渡し、施設に対する、ご意見・ご要望を記載する欄を設けている。1日3回の申し送りを活用し、職員間で情報共有するなかで対応している。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	全体カンファで意見を一人一つは出すようにしてもらい反映する様になっている。	社員の声を多く聴きたいとの代表の提案から、職員用の意見箱を設置している。入社1カ月、3カ月、6カ月と定期的に個人面談の機会を設けている。職員の意見を踏まえ、ルール作り、業務内容の見直しをし、利用者個々のケア、職場環境の充実を図った経緯がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	定期的な状況把握をしたり、意見の聴取及び業務評価基準を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内、社外の研修のお知らせを随時メール等で知らせ参加を推進している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域内にて機会があれば参加させている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	アセスメントをしっかりと取りながら本人が何を望んでいるか？を見極める様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>グループホームの特色等を話しながらよりよい環境で生活して頂ける様配慮している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ニーズとしっかり引き出せるよう努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>出来ることはなるべくして頂く様に声掛けを行っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会時や電話等で情報共有しながらケアに努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>家族や本人からの聞き取り等で得た情報を元に支援に努めている。</p>	<p>入居に至るまでに、今までの関係性が途切れるケースが多い状況である。ホームに入居し、新たな環境で、色々な関わりを持つことにより、本人にとって馴染みの場となるように支援している。要望があれば、個別対応をしていく方針である。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日々の生活の中でそれぞれの得意、不得意とするものをそれぞれが補い合っていける様努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	必要に応じて支援に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個別ケアへの取り組みも行いながら思いに沿う様努めている。	日々の会話や行動などを「ケース記録」に記録し、職員全員が共有している。申し送りは、開所当初（H30.2）は、1日2回であったが、情報共有、チームワークが大事だと考え、2回から3回に増やすことで成果が出ている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントからの情報共有を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	I padでの入力し申し送りノート等での情報共有し把握する様にしている。		

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	利用者、家族を主体として考え、反映する様にしている。	本人の希望、意欲を確認しながら本人の望むことが実現可能となるように、カンファレンスで、介護計画の実施状況やモニタリングを作成、現状に即して見直しなどを実施している。	個々の生活歴を把握する必要があります。本人の今までの生き立ちを知ることで、日々の会話や日々のケアに活かせる部分があります。本人主体の計画にするために、過去から現在を知り、それらを踏まえ、将来を見据えた、介護計画を作成されることを望みます。
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	I padでの入力を行いました、問題等があったらカンファを行い改善する様に努めている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	自己決定がしやすいような環境作りを行っている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	地域資源までは充分には行えていない。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	連携を取りながら関係作りを行い支援している。	看護職員が配属され、週1回の訪問看護と連携をしている。内科、歯科と月2回の訪問診療により、適切な医療が受けられる体制を整えている。看護記録は、医療連携ノートに記録管理され、情報共有している。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	都度気づきや疑問等を早急に伝え適切な受診ができる様支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	都度行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約の際十分な説明を行っている。	希望があれば最後まで看取りを行う方針である。契約時に「重度化した場合の指針」の取り交わしをしている。状態変化に応じて、かかりつけ医との話し合いを重ねての対応方法とし、家族と検討を行い対応方針を決めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	定期的には行っていない。新人研修や経験が浅い職員が多いので今後訓練を行っていく必要がある。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	運営推進会議の際協力体制が得られる様話し合いを行っている。	同グループの応援体制や、3日程度の水・食料などの備蓄も準備されている。特に災害時は、初動行動が必要なため、運営推進会議や地主さんとの協力体制が得られるように話し合いをしている。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人格を尊重しながらプライバシーにも配慮している。	職員採用時には、個人の尊厳、人権擁護、介護技術など、新人研修にて周知徹底をしている。日々のケアや言葉かけなど、気になる点があれば、その都度注意しあう環境である。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	食べたい物、飲みたい物等なるべく自己決定ができる配慮している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個々のペースに合わせてその人らしい生活が送れるようケアしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	髪の毛、洋服等身だしなみに気をつけたり、自分の好みの洋服を選んでもらったりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	それぞれが出来ること、盛り付け準備自由メニューにて具材切り等出来ることをやっていただいている。	ホーム菜園で取れた野菜(茄子、キュウリ、トマトなど)を食事に適宜活かしている。誕生日会では、手作りケーキや本人の好むメニュー、月2回程度の自由メニュー(うどん、焼きそば、天ぷらなど)を取り入れ、季節ごとの行事食の提供により、食事が楽しめる工夫や雰囲気づくりをしている。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量や水分量の1日トータルを毎日Ipadに入力し必要に応じた支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後必ず行っている。 難しい時は訪問歯科のDrに相談し対応方法を聞いたりしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	尿意がある等それぞれ時間を見ながらトイレット紙誘導を行い日中はなるべく布パンツ使用で試みている。	状態に合わせてのトイレ誘導や身体状況に応じて、ベッド近くに、ポータブルトイレの設置を行い、紙おむつ使用は極力避けるようにしている。トイレに座ることを基本としたケアに取り組み、布パンツが継続できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	牛乳や水分等をしっかり摂って貰い、運動も取り入れ排便に繋げる支援をしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	曜日は決まっているが例えば夏場の時季で発汗がある場合は曜日を問わず入浴できる様努めている。	身体機能の状況により、入浴機器（ミストシャワー、機械浴）を選定して個別対応している。午前（10：30～11：30）、午後（13：30～14：30）と分けて、本人の希望、体調に合わせて入浴支援している。本人の肌に合わせて、シャンプーや石鹸は適量の範囲で使うようにしている。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	食後や夜間安心して休める様ケ アを行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	一人一人が理解できる様極力努 めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	おやつを作ったり、食べたい物 飲みたい物が選択出来る様取り 組んでいる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	毎月までとは行かないが希望に そって外出出来る様にケアして いる。	年間外出計画に基づいて、季節 ごとの外出支援をしている。家 族の協力を頂き、食事をされ る方もいる。今後は、気候が良 くなるので計画以外の外出を増 やしたいと準備している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	一部の方のみお金を所持し管理 購入等されている。		

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>訴えがある際は都度対応する様になっている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>生活感や季節感が出せる様展示をしたり写真等も廊下やリビングへ貼り出している。</p>	<p>行事担当職員が中心となり、利用者と職員が共同で季節感が味わえる作品づくりを行い、壁面に飾り付けをしている。手すりやトイレ、食堂の場所が一目で分かるようにイラストを貼っている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>見守りをしながら状況に応じた居場所作りを行っている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居の際になじみのある物を持って来て頂き以前と変わらない生活に近づける様に配慮している。</p>	<p>自分の部屋と分かるように、個々の居室は、壁紙、床部分の色を変えている。裁縫道具、パソコンを持参され、趣味を継続される方もいる。入居時に使い慣れたものを持参して頂くようお願いをし、本人と家族と相談しながら自分の部屋として居心地良く過ごせるよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>手すりトイレや食堂の場所が一目でわかる様イラストが貼ってある。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所理念を各ユニットにて共有する様に意見交換し実践できるように心がけている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	開所前に地域団体、地域包括支援センター居宅介護支援事業所等に案内を出し内覧見学会を開催した。また、運営推進会議を隔月に実施し地域への情報発信を行っている8月には夏祭りを開催する予定で交流する場として地域と付き合っていくように考えている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	民生委員や町内会の方に見学会を開き参加頂いた方に向けて、自社で作成している「介護・医療ニュース」を毎月発行し最新の情報をお伝えしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	平成30年4月6日と運営推進会議を開催し、事業所の運営状況、行事報告、今後の予定などを報告し、意見を伺いその内容を全職員と共有、サービス向上に役立てている		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議への参加の呼びかけを行ったり、利用者とのトラブルの際協力してもらい、不明な点等相談・報告を行っている		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>利用者様がその人らしく生活していただけるよう尊厳を考えケアを行うように心がけている。「身体拘束禁止のための指針」を作成し、身体拘束廃止委員会を構成、年3回の会議予定と研修を計画している。第1回委員会は平成30年5月28日に実施済。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>社内にて年1回以上の研修を実施、新たな知識を身につけるように考えている。また、月1回のミーティングにて不適切な事例を紹介するなど、防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>平成30年7月広島市より発行された「成年後見制度の利用を考えてみませんか？」のパンフを活用し事業所研修を計画中。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時内容の説明後、必ず疑問等の質問がないか確認を取っているが、経過により忘れることも多くその都度必要があれば、面談時に再度確認を行うように心がけている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族会を年6回開催し、意見交換を行うようにしている。また、来所時に面会者記録カードを渡し記入を頂いているが、その書式内に、ご意見を記載できる項目を備えてその都度利用してもらえるようにして事業所運営に生かせるようにしている</p>		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	入社1カ月、3カ月、半年と個人面談の機会を設け意見を聴く機会を設けている。また、事業所内に意見箱を設置し、事業主に直接意見が届くようにしている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員個々において半期に1回個人評価シートを作成し、目標の設定、達成度、評価を元に就業状態把握を行っている。管理者も日常的に事業主と報告・相談を密に行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内研修、社外研修の案内はメールや社内便にて知らせがありその都度職員に提示している。資格取得の講座も自社で開講しており案内がある。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	現在他同業者との交流は行っていない		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	利用者様の本質を理解するために傾聴しながらアセスメントをし良好な関係が保てるように努めている		

自己 評価	外部 評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	家族様への関係を良好にするように希望や意見には耳を傾けるように努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	日々の生活の中で必要なことを早く見いだせるように関わりを持つように心掛けている。必要と判断した場合は早急に、専門職やご家族・ご利用者様と相談をしている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	共同生活の場であることもしっかりと納得いただきながら、良好な関係を築ける様に心掛けている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時等でしっかりと意見や要望を確認することで良好な関係が築けるように努力している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	出来る限り利用者様の情報を確認し喜んでもらえるような事を探すようにしている		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様一人一人の性格を理解し、同じ生活の場で関わっていきけるような場を作るようにしている。意見の衝突や、反りが合わない事も把握しながら、中立での関わりを行っている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	相談等があれば耳を傾けられるような支援を行いたいと思う。現時点で退去後に相談や支援は行っていない		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	常に利用者様が安心して楽しく生きがいを持って生活できるような場を提供するように考えてケアを行っている、できる限り希望に添えるように努めている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人、家族、入居前の居宅や入所先より情報収集して行っている 日常生活の中での会話からも情報を把握するよう努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日の生活記録をタブレットにて管理している。また、職員間への情報共有の為口頭での申し送り、連携ノートを活用している		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>利用者様、家族様の考えが反映できるような環境作りを心掛けている 入居後初めてのモニタリングを7月に実施した、順にケアカンファレンス開催し、今後計画書の見直しも検討する。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>タブレットへの入力を計画書に基づき適宜おこなっており、必要な情報を即時確認できる仕組みにて、ケアの実績を記録している モニタリング期限更新時、内容の見直しを行うように心掛けている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>介護保険外の自費サービスとしてニーズがあれば対応するように取り組んでいるが、現在は特にない</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域、包括支援センター、社会福祉協議会、ご家族に対して働きかけをしていくよう今後行う予定である</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>契約の同意を得て内科・訪問歯科は協力医に往診をしてもらっている。その他、専門科の受診は基本ご家族が付き添って受診される。必ず協力医への情報提供は行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日常疑問に思うこと、気になった事は常に相談をしている 必要に応じて受診や服薬の相談もし、連携している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は必ず付き添うか、翌日には病院へ赴き情報提供を行っている。 また、退院時はカンファレンスの開催を依頼し、体調面、内服薬、ADLの変化、食事等しっかりと情報を得ている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に「重度化した場合の指針」を提示し、内容説明後ご家族より同意を得ている		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急対応マニュアルを作成し目の付くところに掲示している。 必要時は、事前に連絡方法等対応に対する注意を行い、周知している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	防火防災訓練を年1回以上実施している。平成30年6月20日実施済		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様の個人の尊厳は配慮しながら対応するように努力している 言葉掛けなど配慮に欠ける場面も時折ある為、その都度指導や研修にて改善するよう働きかけを続けている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己決定ができるように利用者様のしたいことを確認し、利用者様のタイミングで決定できるように配慮した声かけを行うようにしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務優先となる事もあるが、できる限りおひとりおひとりの希望に添えるように努めている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	整容、洋服の選択等出来る限りご本人に行っている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	出来ることは進んで手伝ってもらおうようにしている。食べたいものを伺い、定期的に献立を考え協働で調理している。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎日必要な水分量を理解した上で、定期的または随時水分摂取を行い、食事については個々の状態に応じた食事内容で提供ししっかり状態把握が行えている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後行えている 口腔衛生管理計画者を作成し、個別のケアも状態に合わせて行うようにしている</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>毎日の定期的な誘導、排泄動作にかかる援助など個別に対応し行っている</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便記録を元に確認し、予防に取り組んでいる 運動やレクの実施、水分の提供を行い毎日配慮している</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>スケジュールを組み、週2回の実施をしているが、個々に応じた入浴は行っていない 今後は、ご本人に応じた支援を行えるようにしたい</p>		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	利用者様の希望に沿えるように対応している		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方後、分封を調剤薬局に日々の配薬を看護師が行い、内服の支援は職員が個別の方法で行っている 体調変化のある際は、看護師と相談の上で服用を支援しており、個別の内服管理表を作成し職員の確認が取れる所に保管している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	気分転換ができるように、外食や外出を計画実行しているが、全ての入居者が対象となっていないことがある。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日常的な外出の支援は行えていない 家族の協力を得て積極的に出かけて頂けるようにしている		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	一部の方のみ所持しており、残りの方は預っている		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望があれば対応できるように努めている</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節を感じれるような掲示物を作成している</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>利用者様の考えに合わせた居場所を工夫している</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅で使用していた道具を持ちこんでいただき、生活空間が少しでも以前に近づけるようにしており、入居時に使い慣れたものを持参頂くようお願いしている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>居室の入り口には利用者様一人一人の顔写真の入った飾り物があり固有を確認できるまた、廊下にはトイレ・食堂等わかるように絵と文字の入った指示表が貼られている</p>		

V アウトカム項目(1ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目(2ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム桃太郎

作成日 平成30年10月30日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員の知識、技量の差があり研修参加率が低い	年3回は社内研修に参加する。 事業者内での研修を全員参加で開催する。	毎月開催している研修へ参加できるシフト作成を行い、毎月経験年数別の研修を事業所内で行う。	1年
2	26	計画作成に対する職員意見、アイデアが出されていない	個別のケースカンファレンスを開催し計画作成を見直す。	更新時計画作成には職員からの意見をしっかり反映させる。	1年
3	29	地域資源を全て知らない為、活用できていない	地域資源を把握し入居者様の活動の幅を広げる。	社会福祉協議会、地域包括支援センターとの情報共有にて知ることから始める。	6か月
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。